

課題番号：23

課題名		廃炉プロセス「PCV/RPV/建屋の解体」 検討対象「現状把握」 課題「PCV・建屋等の構造健全性の把握」	
ニーズ		望ましい状態とその理由	(参考) 関連する研究課題
1	構造健全性を確認したい。	●PCV/RPV/建屋を解体する際には、その構造健全性、耐震安全性が確保されている必要がある。また、作業時だけでなく、解体されるまでの間も長期間に亘って構造健全性、耐震安全性が確保されている必要がある。 ●そのため、PCV/RPV/建屋の構造健全性、耐震安全性が確認されることが望ましい。	課題リスト1/12「コンクリート構造物の健全性評価」
			課題リスト1/12「タンク腐食・健全性評価」
			課題リスト1/12「ライナー腐食・健全性評価」
			課題リスト1/12「レーザー超音波診断法（探傷技術）による金属亀裂、コンクリート健全性遠隔評価手法の開発」
			課題リスト1/12「汚染水処理設備腐食・健全性評価」
			課題リスト1/12「鋼構造物腐食・防食、健全性評価」
			課題リスト11/12「格納容器、ベデスタル、圧力容器、炉内残存機器、損傷を受けた冷却プール内燃料集合体などの損傷を受けた機器(材料)の通常の構造設計基準での強度を超える領域での限界強度の推定法開発の基盤形成」
関連する課題		○「基礎・基盤研究の全体マップ（詳細版）」にて、本課題と矢印で結ばれた課題は関連する課題です。ご参照ください。 ○また、「PCV/RPV/建屋の解体」と「輸送・保管・貯蔵（燃料デブリに由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」を結び「キャラクターゼーション（廃棄物管理のための）」も、本課題と関連する課題です。ご参照ください。	